

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 260 号	氏名	六反田 賢
学位審査委員	主 査 筑波 隆幸 副 査 朝比奈 泉 副 査 池田 通		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、Akt を介した骨格形成制御のメカニズムについて、生体レベルで探るために行われたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 骨格特異的な制御機構を探るために、軟骨特異的な活性型 Akt および機能不活性型 Akt-トランスジェニックマウスを作製し、更に種々の阻害薬およびアデノウイルス発現系を用いて解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、個体レベルでの骨形成、細胞分化、細胞増殖、基質産生について解析を行い、Akt-mTOR, Akt-FoxO, Akt-GSK3 経路の役割について明確な結果が得られた。この研究により、今後の骨格形成の分子細胞生物学的研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は骨格形成制御研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			